

令和4年度 リハビリテーション部 クリニカルインディケーター

目次

- ・当院リハビリテーション算定内容
- ・リハビリテーション患者内訳
- ・月別新患内訳
- ・算定単位数

当院リハビリテーション算定内容

- ・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
- ・廃用症候群リハビリテーション料(Ⅰ)
- ・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
- ・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
- ・がん患者リハビリテーション料

脳血管リハビリテーション料（Ⅰ） 施設基準

- ①専任の常勤医2名以上（1名は当該リハの3年以上の経験者又は研修会等の受講歴・講師歴がある者）
- ②専従の常勤理学療法士が5名以上
- ③専従の常勤作業療法士が3名以上
- ④専従の常勤言語聴覚士（兼任可）1名以上
- ⑤②～④の従事者総数10名以上
- ⑥専用の機能訓練室160㎡以上、言語聴覚療法は8㎡以上の個室 などが要件

脳血管リハビリテーション料の対象患者

- ①急性発症した脳血管疾患又はその手術後の患者
脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、脳外傷、脳炎、急性脳症（低酸素脳症）、髄膜炎、など
- ②急性発症した中枢神経疾患又はその手術後の患者
脳膿瘍、脊髄損傷、脊髄腫瘍、脳腫瘍摘出術などの開頭術後、てんかん重積発作、など
- ③神経疾患
多発性神経炎（ギランバレー症候群等）、多発性硬化症、末梢神経障害（顔面神経麻痺等）、など
- ④慢性の神経筋疾患
パーキンソン病、脊髄小脳変性症、運動ニューロン疾患（筋萎縮性側索硬化症）、末梢神経障害、遺伝性運動感覚ニューロパチー、皮膚筋炎、多発性筋炎、など
- ⑤失語症、失語及び失行症並びに高次脳機能障害の患者
- ⑥難聴や人工内耳植込手術等に伴う聴覚・言語機能の障害を有する患者
- ⑦顎・口腔の先天異常に伴う構音障害を有する患者
- ⑧舌悪性腫瘍等の手術による構音障害を有する患者
- ⑨リハビリテーションを要する状態であって、一定程度以上の基本動作能力、応用動作能力、言語聴覚能力及び日常生活能力の低下を来しているもの
脳性麻痺等に伴う先天性の発達障害等の患者であって、治療開始時のFIM115以下の状態等のもの

廃用症候群リハビリテーション料(Ⅰ)施設基準

- ①脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)を届け出ている。
- ②脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)の施設基準における専任の常勤医師、専従の常勤理学療法士、専従の常勤作業療法士及び専従の言語聴覚士は、それぞれ廃用症候群リハビリテーション料(Ⅰ)の専任者又は専従者を兼ねるものとする

廃用症候群リハビリテーション料の対象患者

- ①急性疾患等に伴う安静(治療の有無を問わない)による廃用症候群であって、一定程度以上の基本動作能力、応用動作能力、言語聴覚能力、日常生活能力の低下を来しているもの
(治療開始時において、FIM115以下の状態等のもの)

運動器リハビリテーション料（Ⅰ） 施設基準

- ①専任の常勤医1名以上
 - ②専従の常勤理学療法士又は専従の常勤作業療法士が合わせて4名以上
 - ③専用の機能訓練室100㎡以上
- などが要件

運動器リハビリテーション料の対象患者

- ①急性発症した運動器疾患又はその手術後の患者
 - ・上・下肢の複合損傷（骨、筋・腱・靭帯、神経、血管のうち3種類以上の複合損傷）
 - ・脊椎損傷による四肢麻痺（1肢以上）
 - ・体幹・上・下肢の外傷・骨折、切断・離断（義肢）
 - ・運動器の悪性腫瘍、など
- ②慢性の運動器疾患により、一定程度以上の運動機能及び日常生活能力の低下を来している患者
 - ・関節の変性疾患
 - ・関節の炎症性疾患
 - ・熱傷瘢痕による関節拘縮
 - ・運動器不安定症、など

呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ） 施設基準

- ①専任の常勤医1名以上
- ②専従の常勤理学療法士又は専従の常勤作業療法士が合わせて2名以上
（1名は当該リハの経験を有する専従の常勤理学療法士）
- ③専用の機能訓練室100㎡以上
———などが要件

呼吸器リハビリテーション料の対象患者

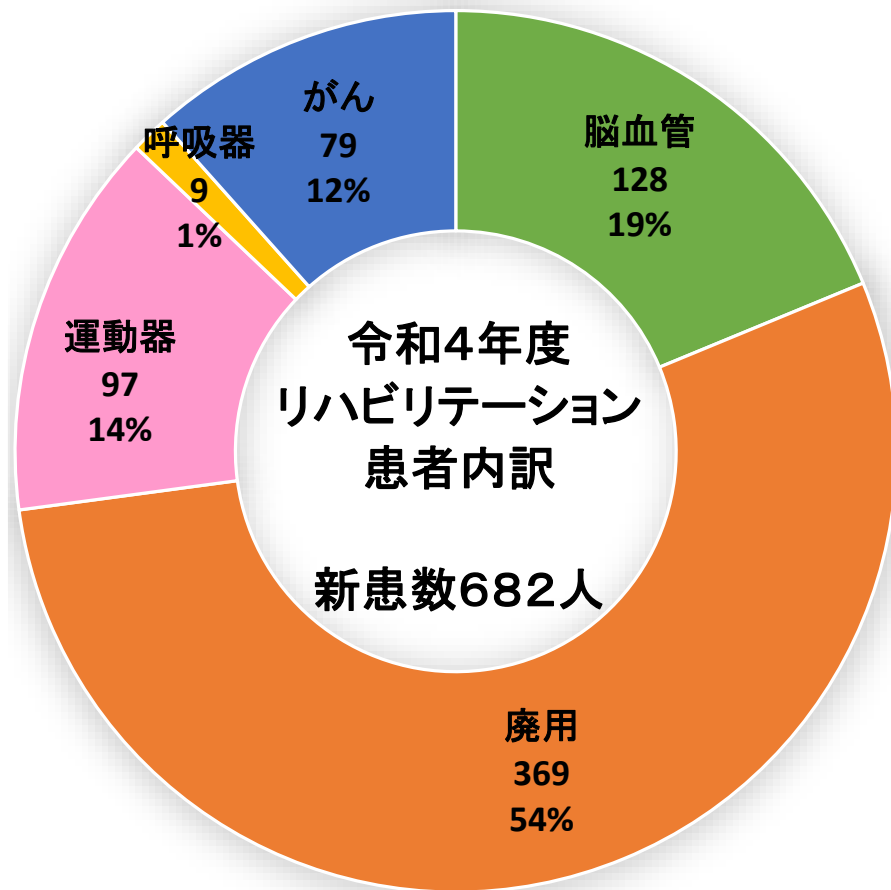
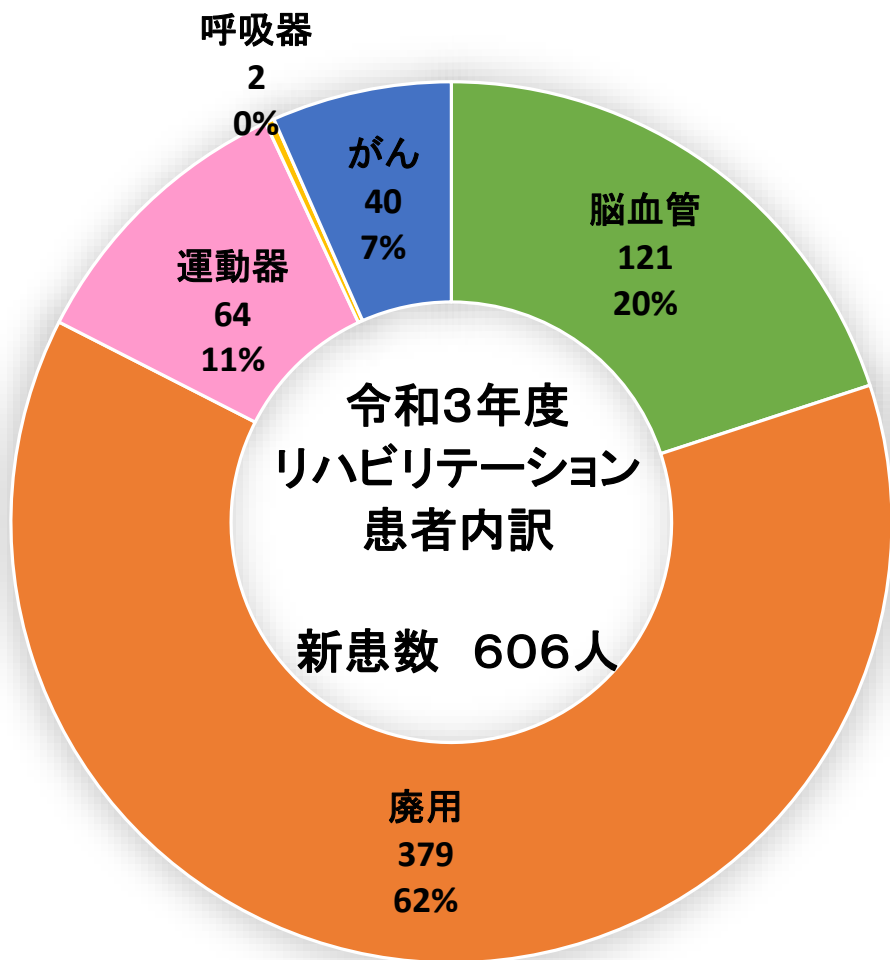
- ①急性発症した呼吸器疾患の患者
肺炎、無気肺、など
- ②肺腫瘍、胸部外傷その他の呼吸器疾患又はその手術後の患者
肺腫瘍、胸部外傷、肺塞栓、肺移植手術、慢性閉塞性肺疾患（COPD）に対するLVRS
（Lung volume reduction surgery）等の呼吸器疾患又はその手術後の患者
- ③慢性の呼吸器疾患により、一定程度以上の重症の呼吸困難や日常生活能力の低下を来している患者
慢性閉塞性肺疾患（COPD）、気管支喘息、気管支拡張症、間質性肺炎、塵肺、びまん性汎気管支炎（DPB）、
神経筋疾患で呼吸不全を伴う患者、気管切開下の患者、人工呼吸管理下の患者、肺結核後遺症等のもの
であって、次の（イ）～（ハ）いずれかに該当する状態であるもの
 - （イ）息切れスケール（Medical Research Council Scale）で2以上の呼吸困難を有する状態
 - （ロ）慢性閉塞性肺疾患（COPD）で日本呼吸器学会の重症度分類のⅡ以上の状態
 - （ハ）呼吸障害による歩行機能低下や日常生活活動度の低下により日常生活に支障を来す状態
- ④食道癌、胃癌、肝臓癌、咽・喉頭癌等の手術前後の呼吸機能訓練を要する患者
食道癌、胃癌、肝臓癌、咽・喉頭癌等で、これらの疾患に係る手術日から概ね1週間前の患者及び手術後の
患者で、呼吸機能訓練を行なうことで術後経過が良好になることが医学的に期待できる患者

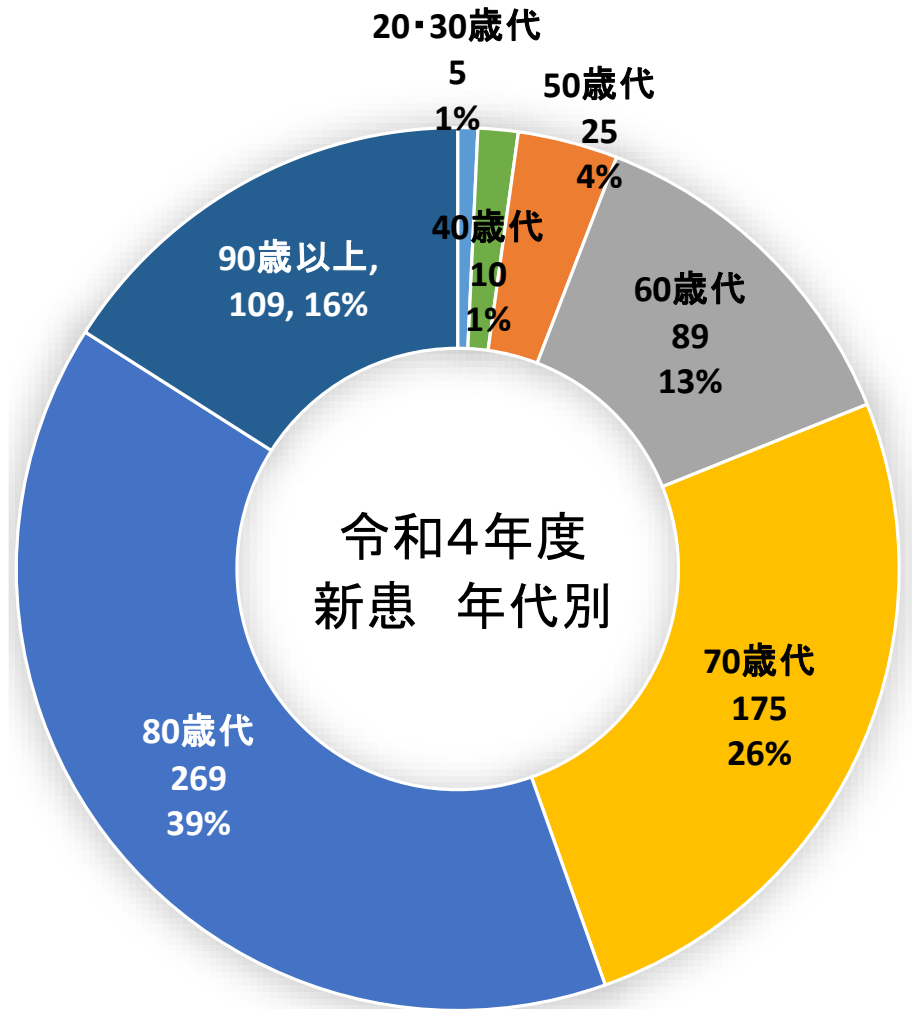
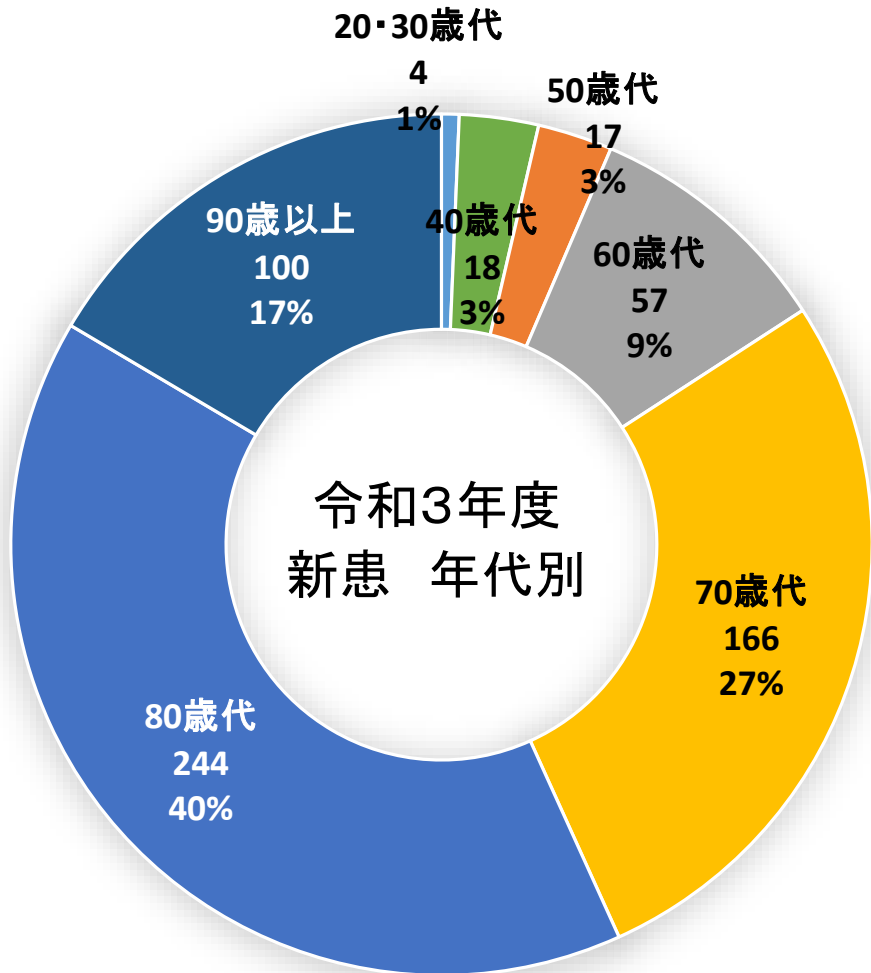
がん患者リハビリテーション料 施設基準

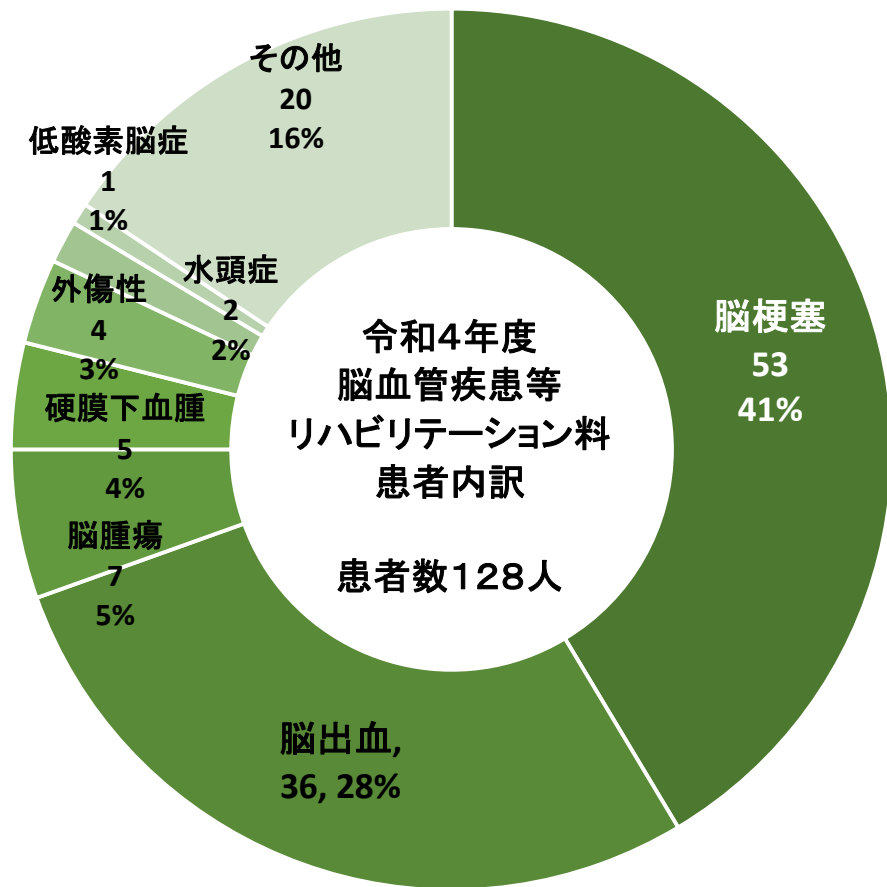
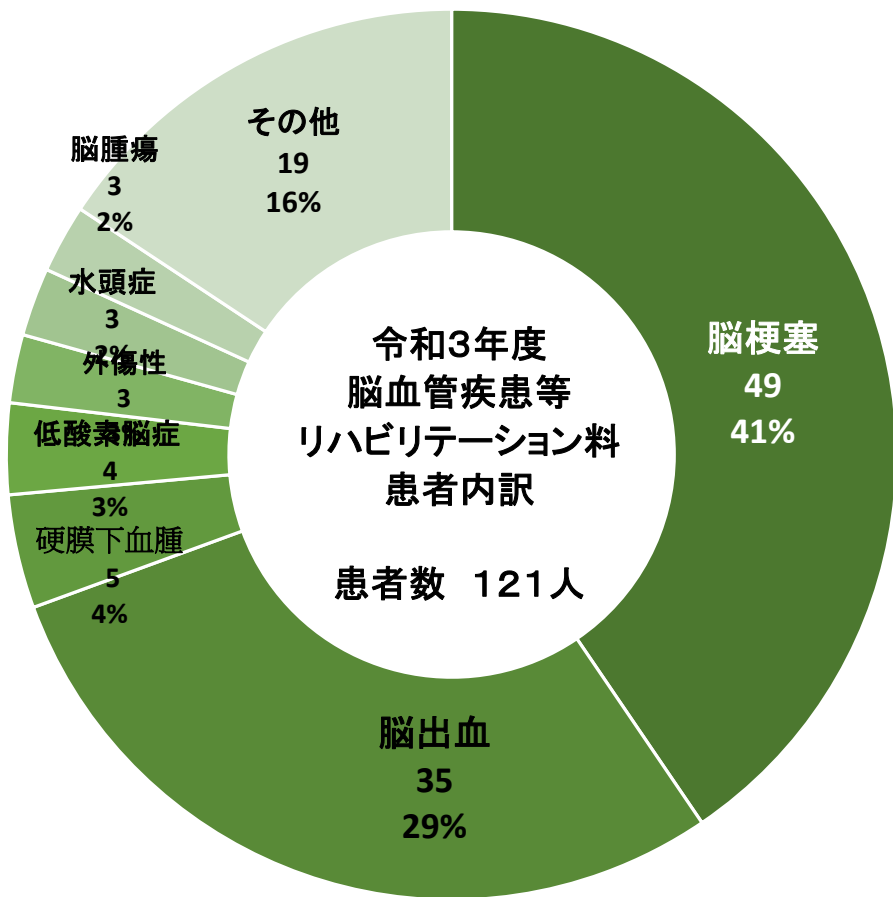
- ①十分な経験を有する専任の常勤医1名以上
- ②十分な経験を有する専従の常勤理学療法士・常勤作業療法士又は常勤言語聴覚士を2名以上配置
- ③専用の機能訓練室100㎡以上
- ④リハビリテーション総合実施計画書1を算定している。月に1回以上作成している。
- ⑤脳血管リハビリテーション料・廃用症候群リハビリテーション料・運動器リハビリテーション料・呼吸器リハビリテーション料との併算定不可
——— などが要件

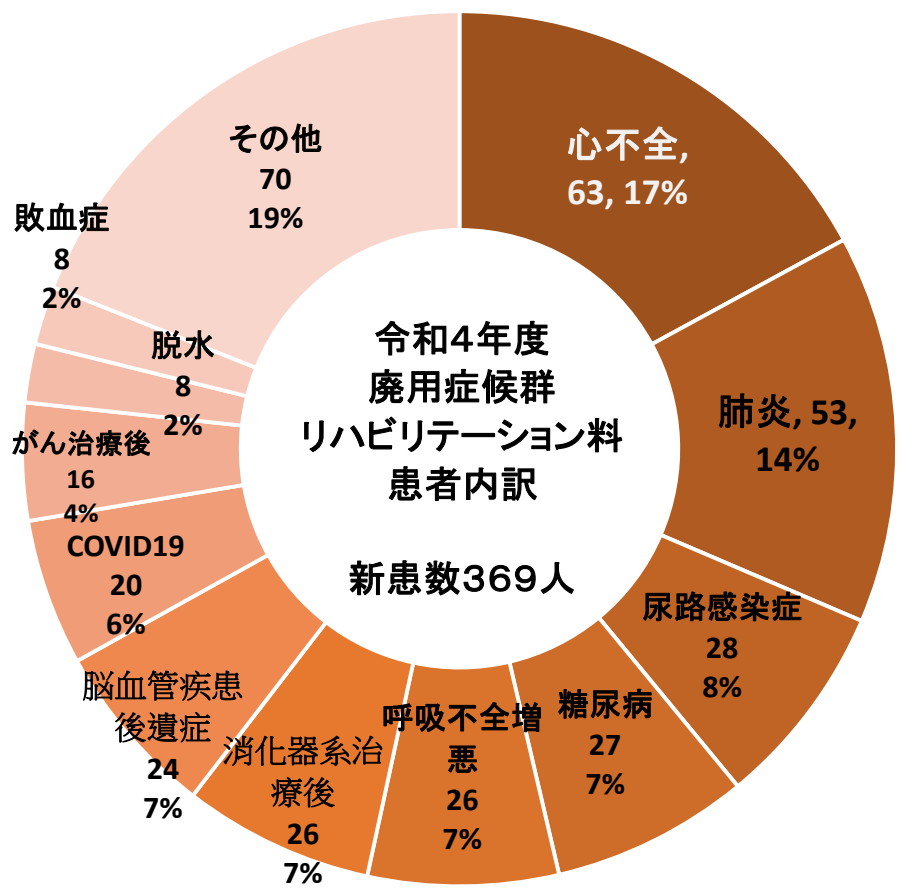
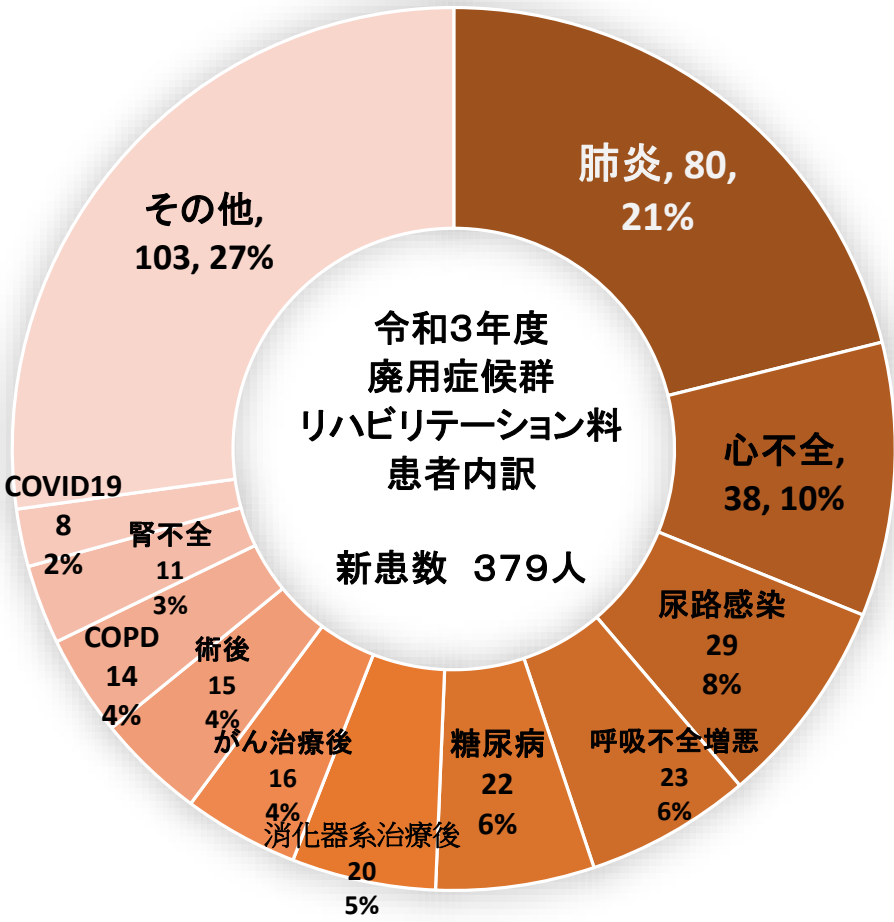
がん患者リハビリテーション料の対象患者

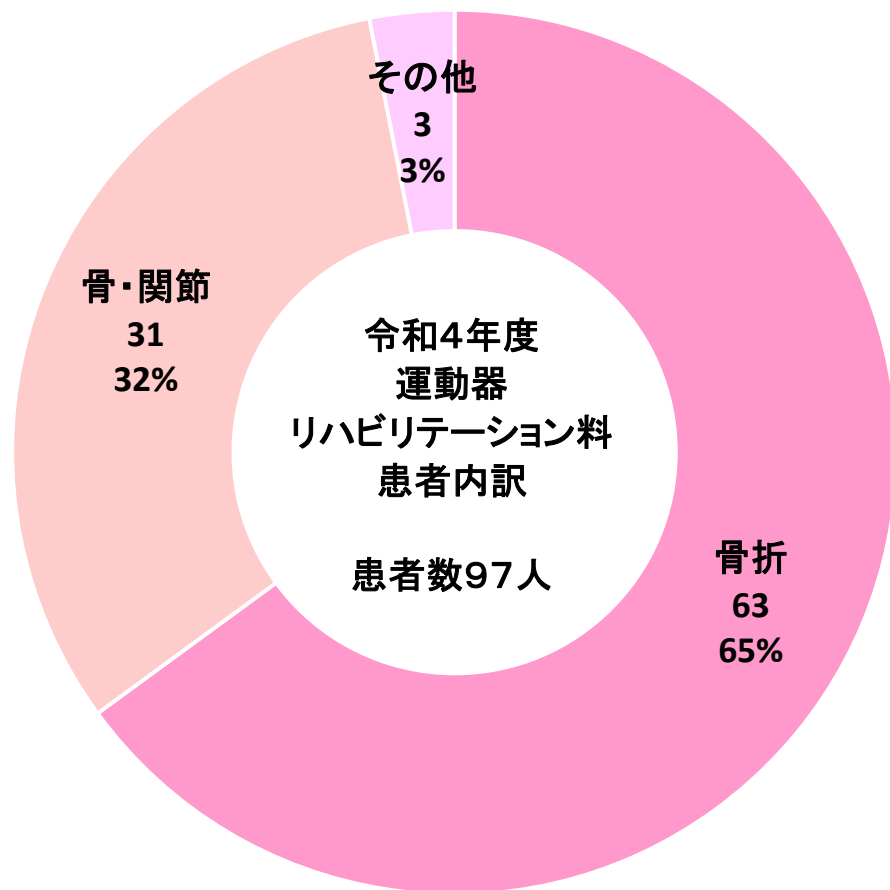
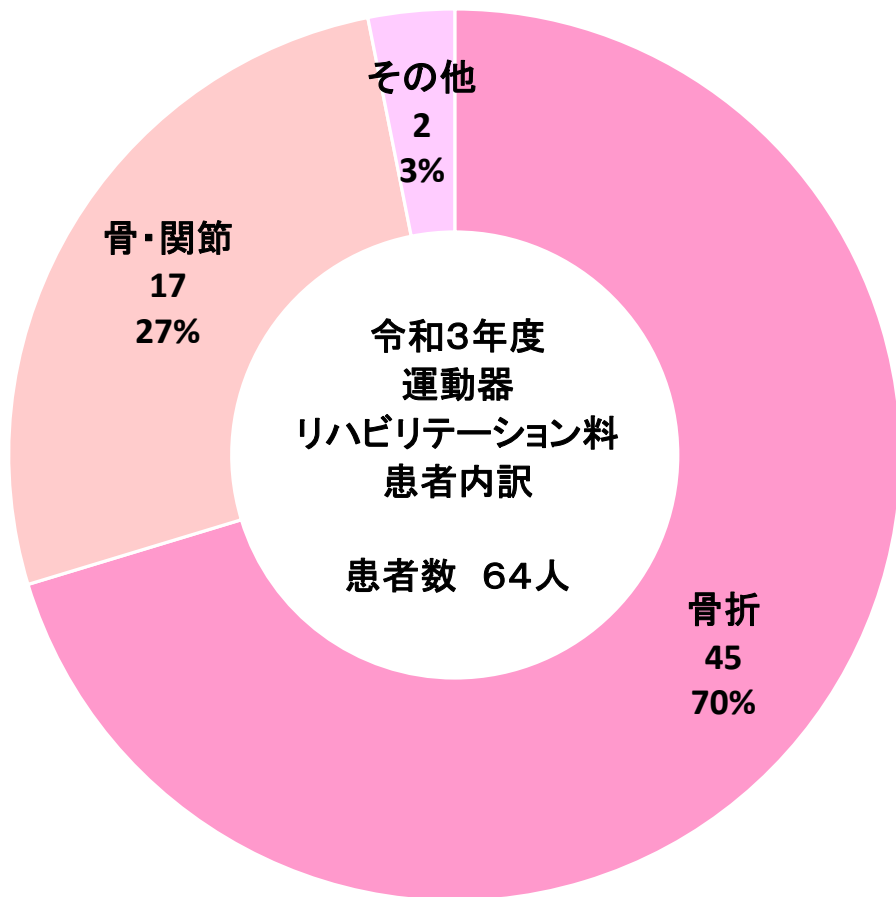
- ①がん患者であって、がんの治療のために入院している間に手術、化学療法（骨髄抑制が見込まれるものに限る）、放射線治療もしくは造血幹細胞移植が行われる予定のもの又は行われたもの
- ②緩和ケアを目的とした治療を行っている進行がん又は末期がんの患者であって、症状の増悪により入院している間に在宅復帰を目的としたリハビリテーションが必要なもの

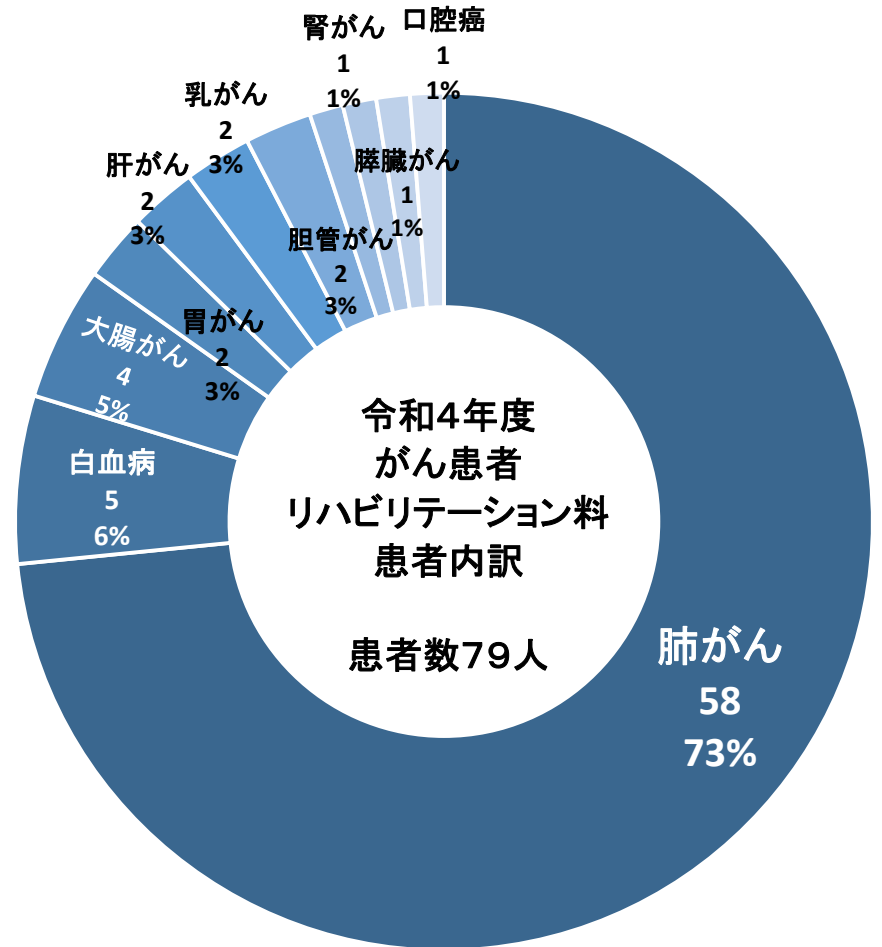
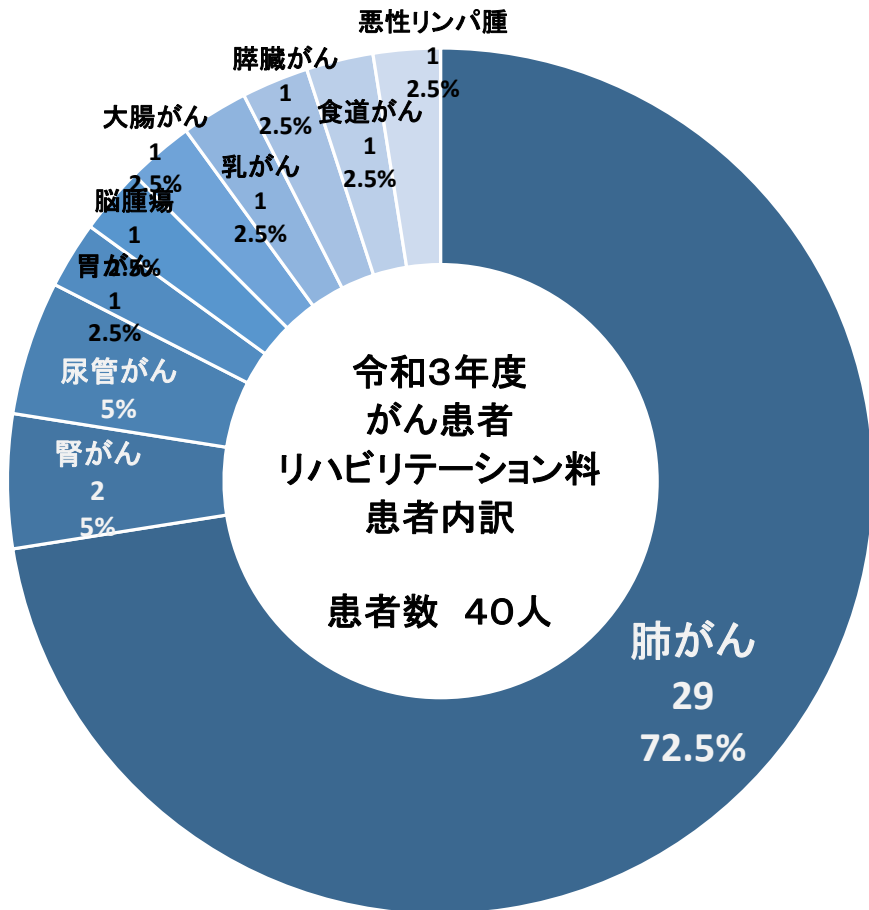


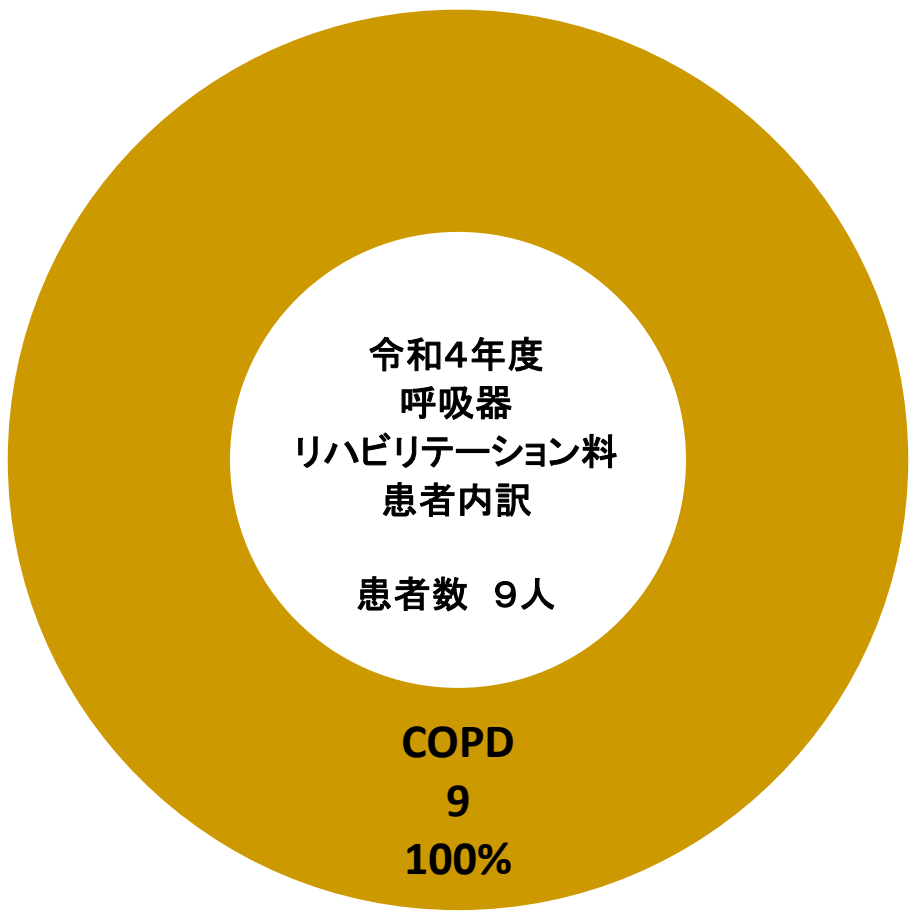
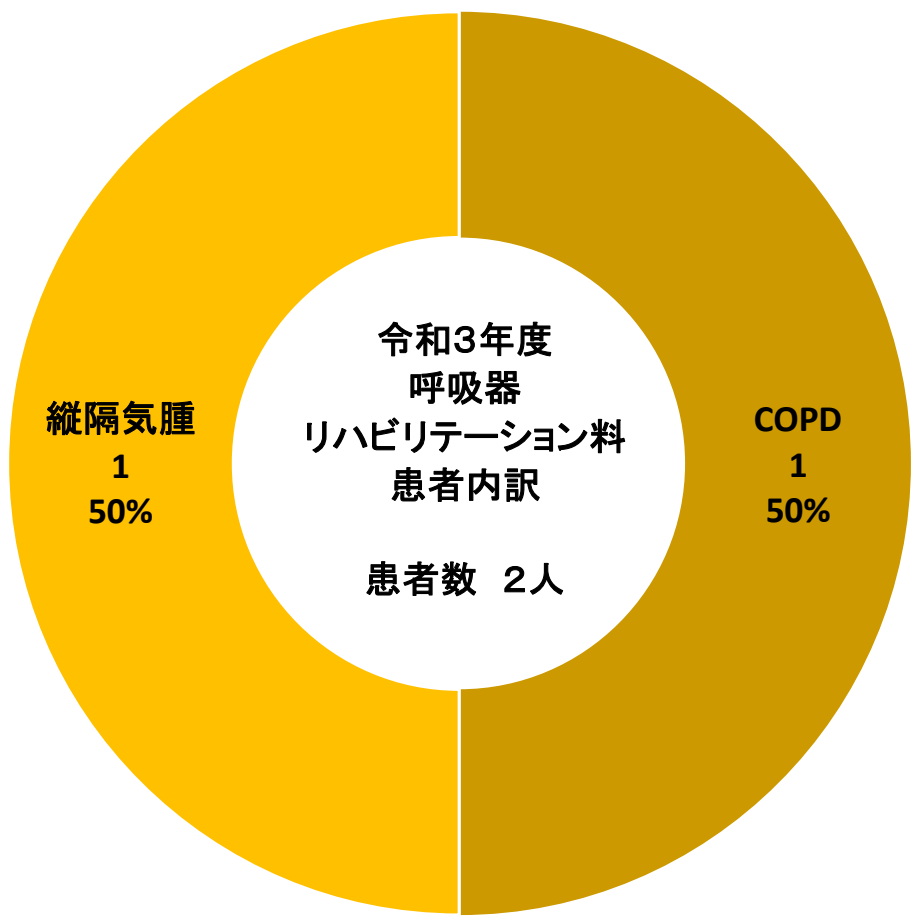






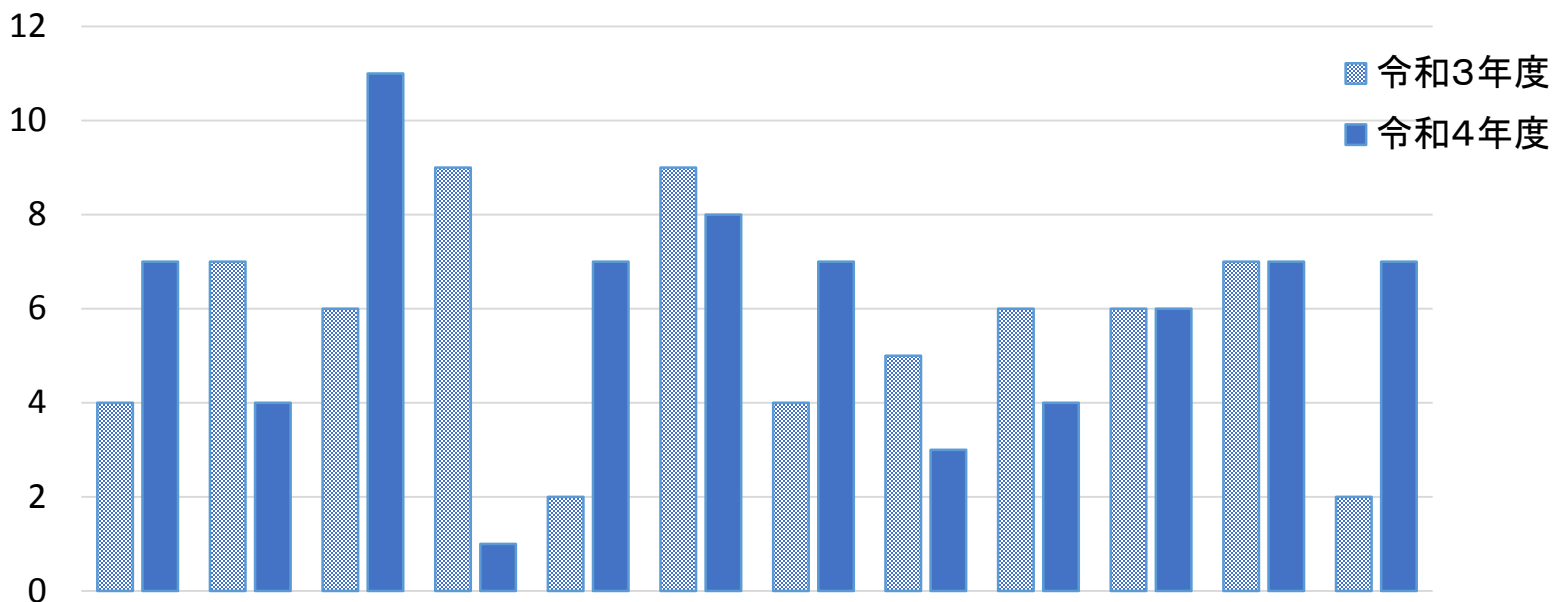






件数

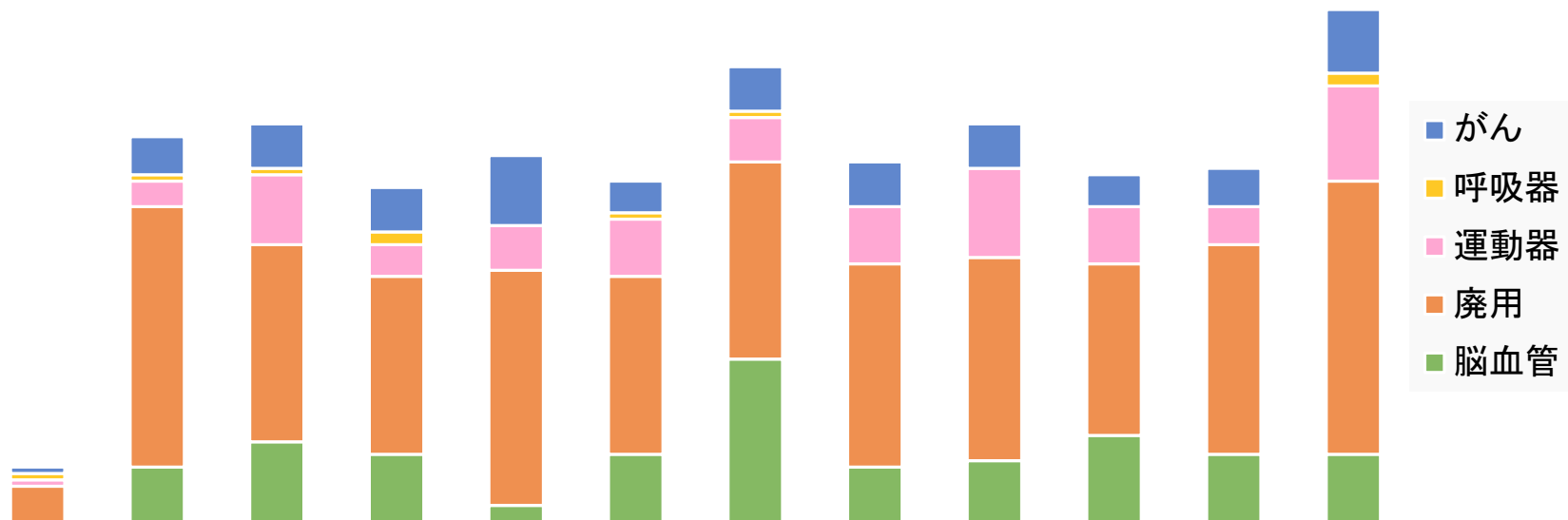
【時間内歩行試験 実施数(件数)前年比】



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計 (件数)
令和3年 検査数	4	7	6	9	2	9	4	5	6	6	7	2	67
令和4年 検査数	7	4	11	1	7	8	7	3	4	6	7	7	72

- ・在宅酸素療法を施行している患者、在宅酸素療法を検討している患者が主な対象
- ・年4回を限定(1月～12月)
- ・検査実施にあたっては、同一建物内に医師が居て常に連絡が取れる状態であることが条件

令和4年度 リハビリテーション新患数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)
がん	1	6	7	7	11	5	7	7	7	5	6	10	79
呼吸器	1	1	1	2	0	1	1	0	0	0	0	2	9
運動器	1	4	11	5	7	9	7	9	14	9	6	15	97
廃用	6	41	31	28	37	28	31	32	32	27	33	43	369
脳血管	0	9	13	11	3	11	26	9	10	14	11	11	128
合計(人)	9	61	63	53	58	54	72	57	63	55	56	81	682

【疾患ごとの PT・OT・ST合計単位数 前年比】

単位

100,000

90,000

80,000

70,000

60,000

50,000

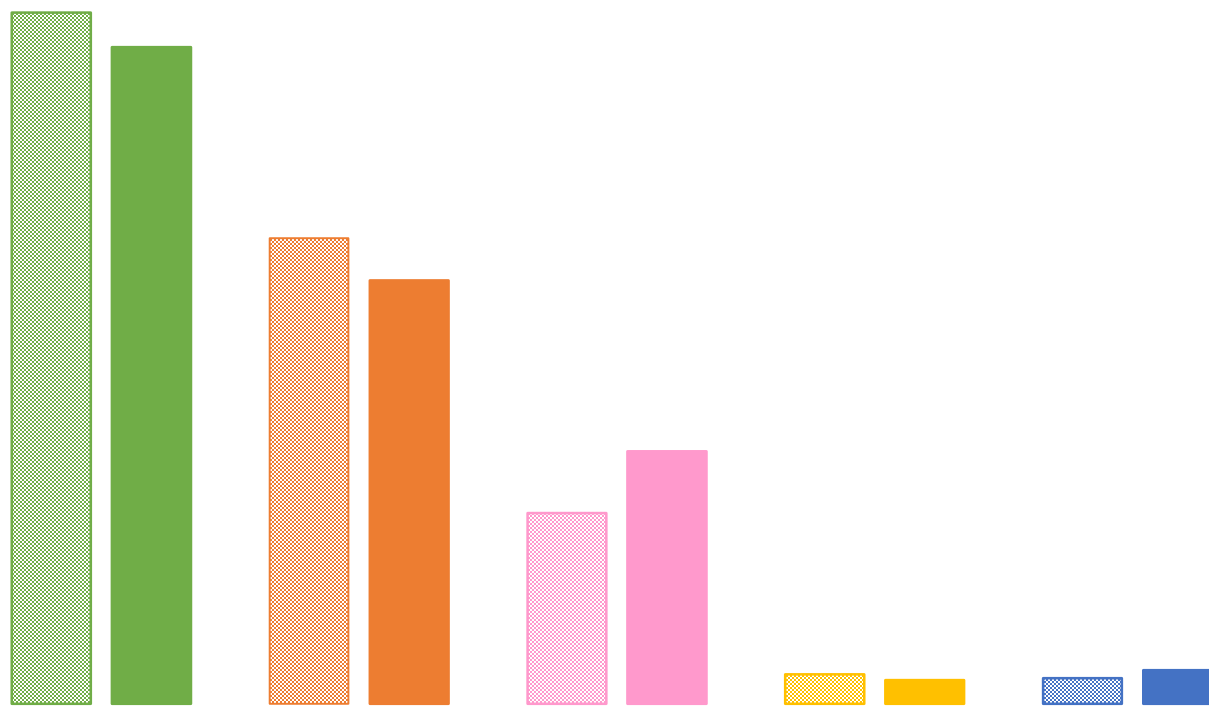
40,000

30,000

20,000

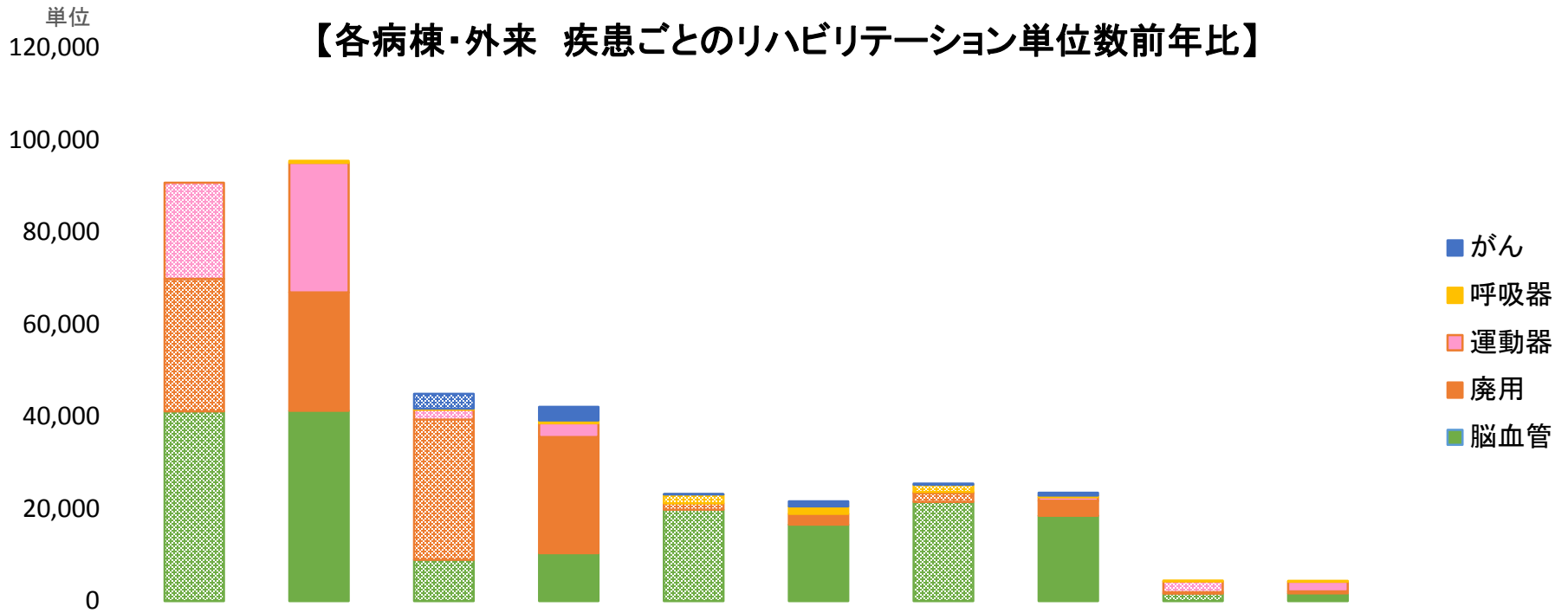
10,000

0



	脳血管	廃用	運動器	呼吸器	がん	合計(単位)
3年度	93,037	62,674	25,659	3,978	3,457	188,805
4年度	88,386	56,982	33,968	3,208	4,546	187,090

【各病棟・外来 疾患ごとのリハビリテーション単位数前年比】



	回復期病棟		一般病棟		療養病棟 1 (コスモス)		療養病棟 2 (ひまわり)		外来		合計 (単位)	
	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度
がん	0	0	3,165	2,934	96	1,049	196	563			3,457	4,546
呼吸器	0	401	246	604	1,940	1,634	1,567	388	225	181	3,978	3,208
運動器	20,806	28,106	2,194	3,003	0	0	306	752	2,353	2,107	25,659	33,968
廃用	28,767	25,652	30,403	25,217	1,368	2,365	1,881	3,284	255	464	62,674	56,982
脳血管	41,140	41,302	8,942	10,368	19,811	16,573	21,503	18,487	1,641	1,656	93,037	88,386
合計 (単位)	90,713	95,461	44,950	42,126	23,215	21,621	25,453	23,474	4,474	4,408	188,805	187,090

令和4年度 リハビリ処方入院患者データ

リハビリ処方数	682処方
病状の変化により処方変更された数	10件
入院からリハビリ処方されるまでの平均日数	1.4日
リハビリ処方から開始されるまでの平均日数	0.26日
一般病棟からの退院または終了患者数	313人
平均入院日数	22.2日
回復期リハビリ病棟へ転棟患者数	239人
回復期リハビリ病棟転棟までの平均日数	10.0日
療養病棟へ転棟患者数	76人
コスモス病棟	24人
ひまわり病棟	52人
療養病棟転棟までの平均日数	28.4日

令和4年度 一般病棟からの退院先

人数

250

200

150

100

50

0

■ がん

■ 呼吸器

■ 運動器

■ 廃用

■ 脳血管

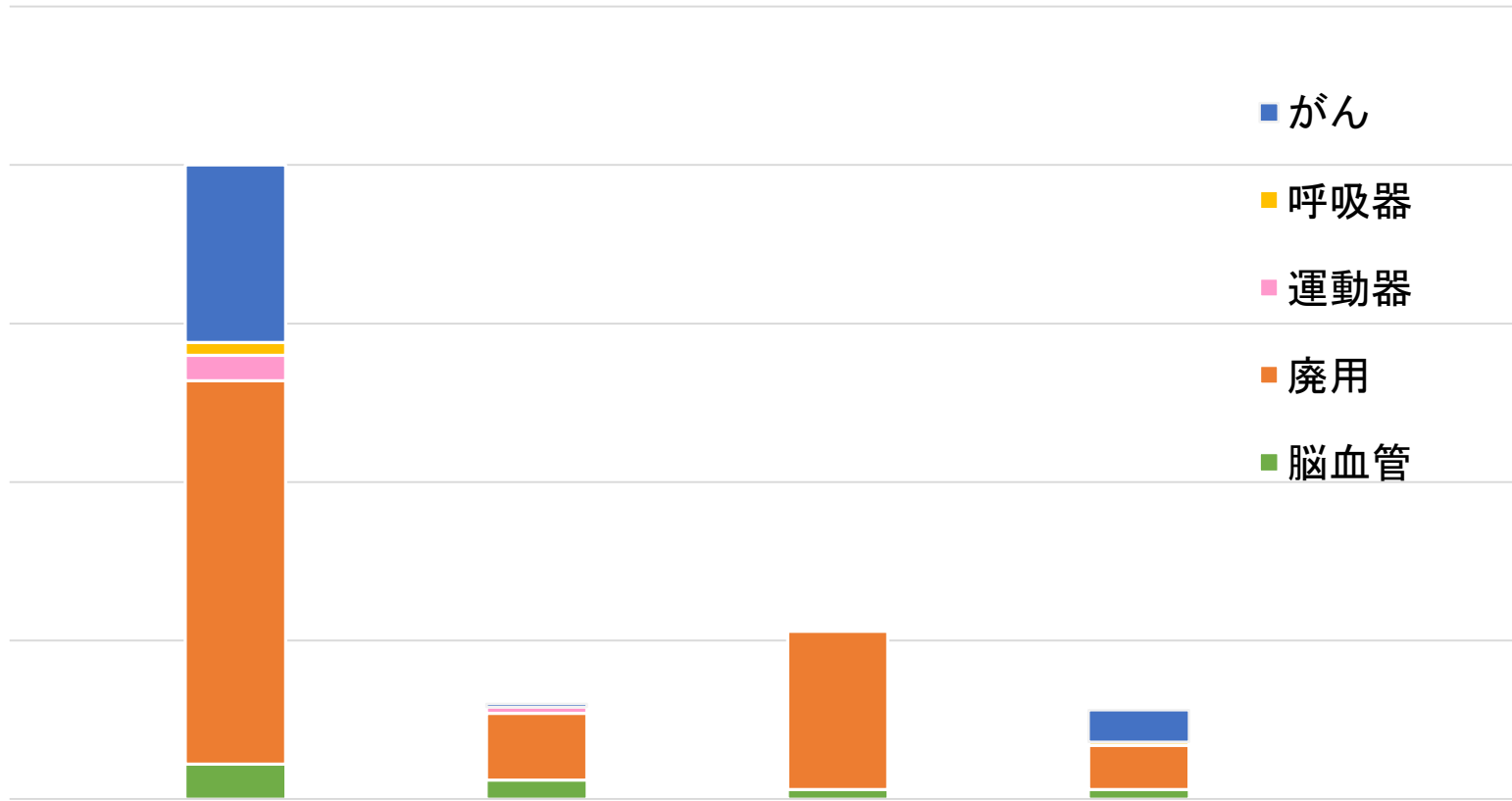
自宅

医療機関

施設

死亡

終了



令和4年度 一般病棟 疾患ごとの平均在棟日数

